

令和3年度(2021年度)

管理事業名	非核平和都市宣言事業			総合計画の体系	大綱 1 政策 1 施策 1	人権・市民自治 平和と人権を尊重するまちづくり 非核平和への貢献
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 16 人権費
部局名	市民部	予算執行所属	人権政策室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】 昭和58年(1983年)に行われた非核平和都市宣言に掲げる核兵器廃絶や恒久平和の実現に向け、市民の平和意識の高揚を図ること。 【概要】 非核平和都市宣言事業(市民平和のつどい開催に関すること。非核平和都市宣言の理念の発信に関すること。平和祈念資料館の管理運営及び企画展実施に関すること。) 						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
平和祈念資料館主催事業の参加者数	人	2,434	68	307	平和祈念資料館主催事業の参加者数 平和祈念資料館における平和映画会観覧者数
平和祈念資料館所蔵資料の貸出件数	件	50	42	51	平和祈念資料館の所蔵資料貸出件数(図書を除く)
平和祈念資料館の所蔵図書貸出者数	人	197	58	90	平和祈念資料館の所蔵図書貸出者数
成果の説明	・学校や幼稚園・保育園等への積極的な広報活動に継続して取り組んでいます。 ・平和祈念資料館の主催事業を工夫しながら、幅広い啓発活動を行っています。 ・令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため45日臨時休館となりましたが、主催事業の企画展、講演会や映画会を人数制限しながら実施したため、指標がそれぞれ増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	21	42	24	△19
経常収入 小計(a)	21	42	24	△19
給与関係費	30,400	28,201	30,522	2,321
物件費	9,976	8,298	11,181	2,883
維持補修費	-	429	220	△209
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	134	111	123	12
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,603	1,603	1,603	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,976	1,726	1,739	13
退職手当引当金繰入額	△31	521	1,810	1,289
支払利息	2,853	2,622	2,399	△223
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	46,911	43,511	49,597	6,086
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△46,889	△43,469	△49,573	△6,104
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△46,889	△43,469	△49,573	△6,104
一般財源充当額	58,229	54,518	58,857	4,339
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	11,339	11,049	9,285	△1,765

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	会計年度任用職員の給料・職員手当等2,321千円の増
物件費	千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)修繕委託料2,329千円の増、市民平和のつどい委託料444千円の増
維持補修費	非核平和都市宣言啓発標柱の修繕209千円の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	21	42	24	△19
行政サービス活動支出	47,018	43,317	47,638	4,321
行政サービス活動収支差額	△46,996	△43,275	△47,614	△4,339
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	11,233	11,243	11,243	△0
財務活動収支差額	△11,233	△11,243	△11,243	0
収支差額 合計	△58,229	△54,518	△58,857	4,339
一般財源充当額	58,229	54,518	58,857	4,339
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(財務活動支出) 平和祈念資料館負担分土地家屋購入に要した経費の返済債務11,243千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	125 円	市民1人あたり131円のコストがかかっています。 (各年度3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	令和2年度	376,944 人	115 円	
	令和3年度	378,781 人	131 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	12,969	12,982	13
未収金	-	-	-	地方債	11	11	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,726	1,739	13
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	61,612	60,009	△1,603	<b>その他流動負債</b>	<b>11,233</b>	<b>11,233</b>	<b>-</b>
土地	-	-	-	固定負債	129,457	118,556	△10,901
<b>建物・工作物</b>	<b>61,612</b>	<b>60,009</b>	<b>△1,603</b>	地方債	75	65	△11
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	17,056	17,398	343
<b>無形固定資産</b>	<b>74</b>	<b>74</b>	<b>-</b>	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	112,326	101,093	△11,233
土地	-	-	-	負債の部合計	142,426	131,538	△10,888
建物・工作物	-	-	-	純資産	△80,739	△71,455	9,285
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	0	0	-
重要物品	0	0	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	61,687	60,083	△1,603
資産の部合計	61,687	60,083	△1,603	負債及び純資産の部合計	61,687	60,083	△1,603

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

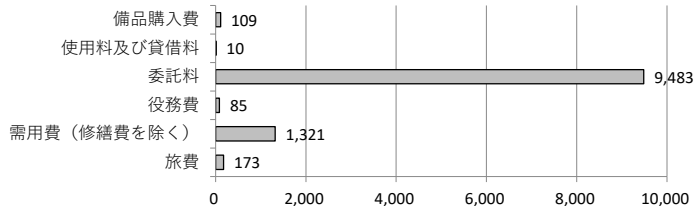
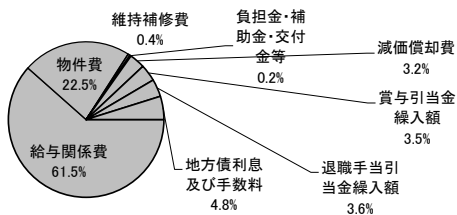
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	3人	590日	0日	
給与関係費等	24,920千円	9,151千円	0千円	34,070
内、時間外勤務手当	41千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	平和祈念資料館の減価償却費による減1,603千円
事業用資産 無形固定資産	電話加入権74千円
その他流動 負債	平和祈念資料館負担分土地家屋購入に要した経費の返済債務11,233千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立平和祈念資料館
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	75,641千円
建物・工作物の減価償却累計額	15,632千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	-	0.6	0.3	△0.3
施設老朽化比率	16.4	18.5	20.7	2.2
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	100.0	99.9	100.0	0.1
経常費用対公共資産比率	62.0	57.5	65.6	8.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】

その他流動負債、その他固定負債は千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋取得に要した経費に係る債務です。

【行政コスト計算書】

経常経費の主なものは、給与関係費61.5%と物件費の80.9%を占める千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の施設管理委託料9,040千円で、経常経費の84%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

PFI事業で平成24年度に取得した千里ニュータウンプラザ(平和祈念資料館分)の土地家屋購入に要した経費の返済債務については、令和13年度までの20年間の償還期間です。  
平和に関する事業のうち、平和祈念資料館については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため45日間臨時休館となりました。利用者は令和2年度より増加しましたが、コロナ禍前に比べると減少しており、今後も、主催事業の充実を図るとともに、実物資産の貸し出しを通して、地域や団体における平和の取り組みを支援するなど、事業の内容や手法を工夫する必要があります。